○各取組項目におけるスケジュール（小瀬川水系大規模氾濫時の減災対策協議会）

資料-3

具体的な取組の柱		取組内容の詳細	実施期間	今後の予定											
事　項	取組内容			大竹市	岩国市	和木町	広島県	山口危機管理	山口土木建築	広島気象台	下関気象台	太田川	広島国道	山口河川	弥栄ダム
協議会開催			毎年出水期前	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組															
■1　洪水氾濫を未然に防ぐ対策															
	・堤防整備（浸透対策、パイピング対策、流下能力対策）	浸透対策 パイピング対策 流下能力対策	順次実施									順次実施			
	・高潮整備		順次実施									順次実施			
■2　避難行動、水防活動に資する基盤等の整備															
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する水位計の整備	CCTV、簡易水位計の設置	H28年度									随時危険箇所を見直し、整備を実施			
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備		H30年度									H30年度整備完了予定			
	・河川のリアルタイム映像の提供設備の検討	・河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上	H30年度									H29年度整備完了予定			—
■3　想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知**（大竹市、岩国市、和木町）**															
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難計画の見直し	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図を公表	H28年度から検討実施									H28.6.14告示済み			
大竹市	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、避難計画の見直しを行う。	H29年度から検討実施	検討中											
岩国市					平成29年度作成予定										
和木町						検討実施									
大竹市	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等の発令基準の見直し	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づき、必要があれば避難勧告等を発令基準の見直しを行う。	H29年度から検討実施	検討中											
岩国市					検討中										
和木町						検討中									
■4　多様な防災行動を含むタイムラインの作成															
	・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定	・河川管理者、沿川自治体、住民、交通 サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの策定	H28年度から検討実施	検討中	検討中	検討中	小瀬川水系については、策定予定なし	検討中	検討中	—	—	検討を継続し、関係機関と連携してH31年内に策定予定。	—	—	—
	・リアリティのある水防訓練の実施	・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合水防訓練（斐伊川水防演習）の実施	H28年度から検討実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
■5　防災教育や防災知識の普及															
	・想定最大規模降雨による堤防決壊時、越水時の流水の破壊力に関するイメージ 動画の作成・公開	・天井川である斐伊川本川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開	H28年度から検討実施									検討を継続する。			
	・「川の防災情報」や地上デジタル放送の活用促進のための周知	・尾原ダムの洪水調節や斐伊川放水路の分流など避難の目安となる目標物のリアルタイム映像情報の配信・共有	H28年度から順次実施									継続実施			
	・出前講座等を活用した防災教育の実施	「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知	H28年度から順次実施	継続実施	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			—
	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警戒級の現象」等の改善	・行政職員が講師となり実施。内容については、水害のみではなく、土砂災害や避難訓練等を総合防災として行う。（年3回程度）H29からモデル校を選定し実施するとともに順次拡大を図る。	H29年度から順次実施							継続実施	継続実施				
	・スマートフォン等へのプッシュ型の洪水情報発信	出前講座等を活用した防災教育の実施（H28年度から定期的に実施）	H28年度から検討実施									継続実施			
②地域別の氾濫特性に応じた効果的な水防活動															
■1　避難行動、水防活動に資する基盤等の整備															
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する水位計の整備	CCTV、簡易水位計の設置	H28年度									随時危険箇所を見直し、整備を実施			
	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視するCCTV等の整備		H30年度									H30年度整備完了予定			
	・河川のリアルタイム映像の提供設備の検討		H30年度									H29年度整備完了予定			—
大竹市	・防災拠点の中心となる庁舎等の代替施設となり得る民間施設等の提携、連携	・河川のリアルタイム映像の提供設備の整備及び避難行動等に資する水位予測等の精度向上	H32年度	—											
岩国市					—										
和木町						検討中									
広島県							—								
山口県								検討中							
太田川河川事務所												検討を継続する。			
■2　水防活動の効率化及び水防体制の強化															
	・水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・消防団員と兼任する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	H28年度から定期的に実施	継続実施	—	継続実施									
	・小瀬川本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について水防団や地域住民が参加する合同点検を実施	・斐伊川本川の重要水防箇所や洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	H28年度から定期的に実施	—	—	継続実施						継続実施			—
	・リアリティのある水防訓練の実施	・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合水防訓練（斐伊川水防演習）と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	H28年度から検討実施	継続実施	—	未実施	—	継続実施	検討中	—	—	—	—	—	—
	・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	H28年度から順次実施	—	継続実施	一部実施	一部実施	—	継続実施			継続実施			—
③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水活動の取組															
■排水計画の作成及び排水訓練の実施															
	・排水施設の情報共有、排水手法の検討を踏まえた排水計画の作成	・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	H29年度から検討実施	—	未定	未実施						H30年度中の策定予定			
	・排水計画に基づく排水訓練の実施	・排水計画に基づく排水訓練の実施	H30年度から順次実施	—	未定	平成31年度以降に実施予定						H31年度から順次実施			
④弥栄ダムの効果的・効率的な運用															
■弥栄ダムの効果的・効率的な運用															
	・下流河川の被害を軽減するため、流入量予測の精度向上等による更なる効率的な運用を実施	・排水計画に基づく排水訓練の実施	H25年度より特別防災操作（適応操作）を試行中									継続実施			継続実施